

おいしく手ごろな値段のチョコレートをお届けしたい



高岡会長

高岡食品工業(株)

高岡 和子会長(79)

高岡食品工業(株)は、1877(明治10)年に初代高岡宗十郎氏が現在の工場と同じ場所で菓子問屋を前身としてスタート。その後、高岡宗吉氏が菓子小売業を兼任する。1921(大正10)年からは製パン、焼き菓子の製造も開始し、戦時中は兵庫県指定工場として、配給用のパンの製造も始めた。戦後、飴菓子、羊かん、チョコレートも始める。48(昭和23)年に個人組織を法人組織に改め、高岡食品工業(株)を設立。「企業を通じて社会に奉仕しよう」「より良い品をより安く世の中へ送り出そう」「より豊かな生活とより良い人生を築こう」を社是として企業活動を行う。

チョコレート原料の自由化に伴い、当時は高価だったチョコレートを、子供たちが気軽に食べられるようにしたいという思いから、チョコレートの製造のみに力をそそぐ。現在、大手の問屋を通じて大手量販店、生協、ドラッグストアなどに自社製品を販売している。安くて美味しいと評判のチョコレート



おいしくて安い/タカオカチョコレート自慢の商品

トの原料は、大手商社を通じ、原料から1品ずつを吟味して仕入れている。良い商品は良質の原料からできるといふことだから、技術力で製造過程のコストを抑え、手ごろな値段で提供している。

また、開発力にも優れ、きな粉や小

豆が入ったユニークな商品を生み出している。「こんな商品できないか?」と言うと、前向きに取り組んでくれる上、形にできる力を持った社員に恵まれたと高岡会長。

その技術・開発力が評価され多くの消費者に支持されて今日に至る。

高岡会長は、「モノづくりの企業として、良いものを間違いなく届けたいという思いで製造してきた。チョコレート作りは夢のある仕事。従業員も同じ気持ちで仕事に取り組み、会社を支えてくれている。これからも多くのお客様に当社の製品を食べてもらいたい」と優しい笑顔で。

今は、ISO取得に向けて、社員が一丸となり現場改革を行っており、子供からお年寄りまで末永く愛されるタカオカチョコレートを目指している。

(松久)

【会社概要】

所在地 東本町4-1
 資本金 8400万円
 営業内容 各種チョコレート製造・加工および販売、モールドもの各種・掛けもの各種・エンロバーもの各種・麦チョコ・チョコボール、各種・ロングビスチョコ掛け
 従業員 60人
 TEL 6401・4991
 FAX 6401・4993